



## ウマノスズクサ

ウマノスズクサ科 花期7～9月  
つる性の多年草で、茎は細くよく枝分かれする。葉は互生し、長さ4～7cmの三角状卵形で、その基部は心形で両側が耳のようにはり出す。葉の間からサキソフォンに似た形の焦茶色の花を咲かせる。土手などで見られる。



サキソフォンに似た形の花



## セリ

セリ科 花期7～8月  
高さ20～50cm。枝先から複数の花序をだし、夏に白い小さな花を多数つける。名前は群生する状態が競り合って生えることによる。春の七草の一つで、香りがよく春先によく食されていた。水田や溝などに多く見られる。



若葉は食べられる



## オニドコロ

ヤマノイモ科 花期7～8月  
つる性の多年草で、葉は互生し、心形で先はとがる。雌雄異株で、雄の花序は葉の間から直立し、淡緑色の小さな花をつける。雌の花序も淡緑色の花をつけるが、直立せず垂れ下がる。斜面林で見られる。



葉の間から伸びる雄花